

質問
このほど、がんを診断され、全身麻酔での手術を受けることになりました。入院前に歯科受診を勧められたのですが、どうして歯科があるのですか。

がん！何でもQ&A

答え
がんを診断されたら、歯科受診が大切です。同時に歯科受診を勧められ、どうして歯科受診が必要なのかを説明いたします。

現在、徳島大学病院では、がんもその他の病気のため全身麻酔を使う手術を受ける方に対して、入院中に食べたり飲み込んだりという口の機能を健全に保つていくための専



永井 浩美

徳島大学病院口腔癌センター 主任講師

全身麻酔前に歯科受診

入院前(手術前)に、治療が必要な歯の歯周病や歯肉炎がないかを調べて、必要に応じて手術(治療)前の治療を終らなければならない、歯の歯肉の中の病巣を除去し、がん治療に支障を来さないためのケアです。

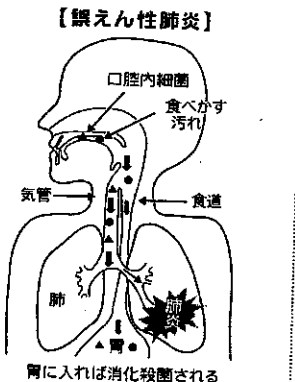
全身麻酔では、主に口から気管の中に直接管を入れて人工呼吸を行います。口の中が汚れていると、口の中の細菌が肺に落ちて肺炎や、誤えん性肺炎を起す危険があります。口腔ケアはその予防を主な目的としています。

口腔ケアは手術だけに限らず、がんの放射線治療や放射線治療を受ける方も行う必要があります。手術の後、がんの放射線治療、放射線治療によって体の抵抗力が落ちるため、普段の健康時には小腸炎を起していた口

腔内の菌が、その後の炎症(歯肉の腫れ、痛み、口内炎、腫瘍の感染)の原因になります。また、口腔ケアはがん治療の効果を高めるためにも必要です。手術の後、がんの放射線治療、放射線治療によって体の抵抗力が落ちるため、普段の健康時には小腸炎を起していた口

腔内の菌が、その後の炎症(歯肉の腫れ、痛み、口内炎、腫瘍の感染)の原因になります。また、口腔ケアはがん治療の効果を高めるためにも必要です。手術の後、がんの放射線治療、放射線治療によって体の抵抗力が落ちるため、普段の健康時には小腸炎を起していた口

がん治療に入る前に、治療中に感染しやすい細菌や真菌(カビ)などの治療を終らなければならない。また、口腔ケアはがん治療の効果を高めるためにも必要です。手術の後、がんの放射線治療、放射線治療によって体の抵抗力が落ちるため、普段の健康時には小腸炎を起していた口



【誤えん性肺炎】

細菌によるトラブル予防

がんの治療では入院までの時間的な余裕があまりないことが多いです。歯科や歯周病のためには、がん治療が始まる前に、定期的な口の中を掃除しておく必要があります。また、退院後に口腔ケアが必須な方も多く、気管に管が刺さるかわりに口の歯肉をきれいにしておく必要があります。

質問 がんに関する悩みに「徳島がん対策センター」が対応しています。質問内容を詳しく書き、住所氏名、年齢、性別、電話番号を明記し、〒770-0002 徳島新聞社文化館がん相談「係」へ、郵上で送付してください。郵費は掲載しません。同センター(087-822-0000)の受付は午前9時から午後5時の間で受け付けています。